

科目名	専門演習 I B	
担当者	長瀬 二三男 / NAGASE, Fumio	
科目情報	法ビジネス / 必修 / 後期 / 演習 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	演習参加者それぞれが、民法の判例の中から関心のあるテーマを選び、その争点について研究発表して、発表者以外の演習参加者とともに議論する。
	到達目標	関心のある民法上の争点について調査・研究することにより、資料探索能力・研究能力を養うとともに、活発な議論を通じてディベート能力を高めることを目標とする。
授業計画	<p>前期の専門演習 I Aで決定した発表順にしたがって研究発表を行い議論していく。</p> <p>(1) 発表順の確認と後期の諸注意事項</p> <p>(2) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p> <p>(3) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p> <p>(4) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p> <p>(5) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p> <p>(6) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p> <p>(7) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p> <p>(8) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p> <p>(9) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p> <p>(10) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p> <p>(11) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p> <p>(12) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p> <p>(13) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p> <p>(14) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p> <p>(15) 前期に決定している発表順にしたがって研究発表を行い議論</p>	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者は、あらかじめレジュメを作成して配布すること。 ・発表者以外の演習参加者も発表者のテーマについて調べ、積極的に議論に参加して意見を述べられるようにしておくこと。
	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートをもとに議論した内容を整理しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】星野英一ほか編『民法判例百選 I（第5版）』有斐閣2006年、星野英一ほか編『民法判例百選 II（第5版）』有斐閣2006年、水野紀子ほか編『家族法判例百選（第7版）』有斐閣2008年	
成績評価方法と基準	<p><評価方法>研究発表50%、ディベート50%で判定する。</p> <p><評価基準>事案の争点を把握し、他の演習参加者と議論をすることができれば合格とする。</p>	
備考	夏休みにはゼミ旅行、春休みにはゼミ合宿を、それぞれ2泊3日（参加費用は各25,000円程度）で行い、新ゼミ生歓迎会、卒業生送別会なども行う。	